大分県看護協会

看護おおいた

第125号
令和4年
11月15日発行

オアシス病院グループは、大分市鶴崎地区大野川沿いにある、地域に根付いた病院・介護施設です。

私達は、利用される皆さまにとって「癒し」と「安らぎ」が得られる場所 ……『オアシス』を目指しています。

会員数 総数 10,112 名
保健師　544 名
助産師　218 名
看護師　8,747 名
准看護師　603 名
（2022 年 9 月末日現在の加入数）

https://www.oita-kango.com

Contents

2022年度　大分県職能別交流集会 …… 2
トップに聞く …… 4
2022年度　地区別施設代表者会議 …… 5
看護の現場から …… 6
地区活動紹介（日田・九重・玖珠地区） …… 7
秋の地域活動「げんき教室」 …… 7
2022年度　リスクマネジャー交流会 …… 8
研修部だより …… 10
Information（2022年12月～2023年１月） …… 11
ナースセンターからのおたより …… 12
こんな働き方していま～す …… 13
2022年度　災害支援ナース交流会 …… 14
「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」 …… 15
理事会審議事項報告（2022年７月～９月） …… 15
寄付をありがとうございました …… 15
会員係より …… 16

2022年度　大分県職能別交流集会

テーマ「災害時の受援体制について」

日　　時：2022年9月3日（土）9:30～12:30
参 加 者：会場参加：28人（内報告者 5人）　Web参加：176人　職能委員：12人
（職能別内訳）　保健師：68人　助産師：14人　看護師Ⅰ：119人　看護師Ⅱ：15人
主　　催：大分県看護協会　3職能４委員会

2019年に【災害をイメージし、動ける看護職に！】をテーマに交流集会を実施し、以後、受援体制をテーマに開催予定でしたがCOVID19の感染拡大にともなう看護現場への影響を考慮し、2020・2021年度は新型コロナウイルスに係るテーマで交流集会を行いました。

このような経緯から【受援体制】は待望のテーマでした。

各職能から、「共通認識のもと災害に備えるためにアクションカードを個人携帯とした」、「災害対応を振り返り、効果的な支援を実現するためにマニュアルを見直した」などの実践報告がありました。

今回、参加者が過去最多で、テーマに対する関心の高さが伺えました。各施設の【受援体制の整備と訓練】の取り組みに活かされることを期待しています。受援体制構築の次のステップへ進むために３職能４委員会として今後も連携していきたいと考えています。

（看護師職能委員会Ⅰ委員長　甲斐 仁美）

会長挨拶

調査報告　疋田　八千代 氏

【プログラム】

9：30　開会　挨拶　大戸　朋子（大分県看護協会会長）
　　趣旨説明　甲斐　仁美（看護師職能Ⅰ委員会委員長）

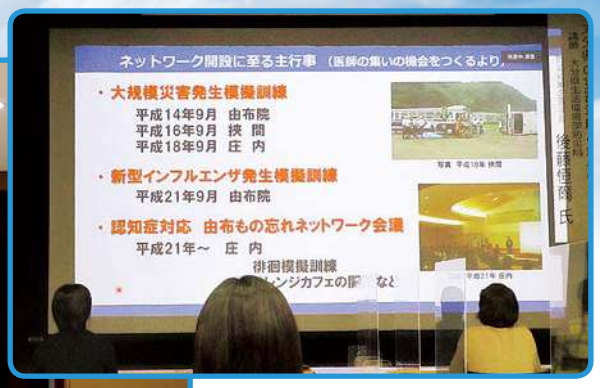
9：35　実践報告

【報告者】保健師職能：由布市役所　主幹　柴田 玲子氏
助産師職能：中津市民病院　看護師長　横山 恵吏香氏
看護師職能Ⅰ：南海医療センター　看護師長　山田 淳子氏
看護師職能Ⅱ：医療法人相生会ごとう医院
看護師長　石川 邦子氏

報告　「災害時の受援体制整備に係る調査結果報告」
【報告者】災害看護委員会委員長：南海医療センター
副看護部長　疋田 八千代氏

県内の受援体制の現状把握が理解できた。受援マニュアルを策定している施設は1施設、受援体制を想定した訓練を実施している施設は2施設だった。支援の力を有効に活用するためには、受援マニュアルの整備をはじめ、平時からの訓練が必要である。

会場



実践報告

実践報告　山田　淳子 氏

実践報告　柴田　玲子 氏

実践報告　横山　恵吏香 氏

実践報告　石川　邦子 氏

10：50　講演　「県の災害対応と危機管理」

【講師】大分県生活環境部防災局　防災企画課長　後藤　恒爾 氏

「石巻赤十字病院～東日本大震災初動の記録」の動画や大分県でも毎年のように発生している自然災害を紹介、災害予防対策・広域防災拠点の活動などについての内容。

防災啓発動画YouTube「防災おおいた」公開中

講演　後藤　恒爾 氏

12：00　職能別交流会

会場参加の方だけになりましたが、職能別に分かれ開催しました。2022年度活動計画についての説明、意見交換等を行いました。

12：30　閉会

トップに聞く

特定医療法人 善昭会

オアシス第一・第二病院

住所／〒870-0103　大分市東鶴崎2-3-30
TEL／097-527-2500

施設の看護代表者の方にスポットを当て、ご自分の経験から生まれた看護観や、看護に対する思い、日頃大事にしている事や後輩に伝えたいことなど、施設の紹介と共に記事を掲載しています。

特定医療法人　善昭会
オアシス第一・第二病院
看護部 部長　神田智恵子

オアシス病院グループは、昭和43年に上尾病院として開院、現在はオアシス第一病院〔一般病棟45床・特殊疾患病棟60床〕、オアシス第二病院〔特殊疾患病棟の２階病棟／３階病棟　計80床〕（2022年９月時点）と介護施設を運営しています。

一般病棟は、地域のかかりつけとなっている患者さんの心不全や脳梗塞などの急性期治療を行っています。特殊疾患病棟は、入院患者さんの８割以上が特定疾患患者（神経難病・重度意識障害等）です。治療が難しく進行していく難病の患者さんとその家族への寄り添う看護が中心となります。

私は、2022年の４月より看護部長を任命されました。

管理者として、最初に取り組んだのは病院看護部の全員との個人面談です。看護師・准看護師・介護スタッフ・MSWから職場や家庭のことなど、個々の「思い」を聞くことができました。それぞれが様々な事情で働くことを理解し、業務の見直しや勤務時間・働く環境の調整を行うことで「働き続けられる職場」を目指す必要があると実感しています。

今後は、看護協会への研修参加や教育体制の見直しなどを行い、スタッフ一人ひとりと向き合い、患者さんにとって「オアシス」となるような看護師が育成できるよう看護部をまとめていきたいと思っています。

オアシス第二病院

屋上から見た大野川
（大在方面）

病棟カンファレンス風景

多職種カンファレンス
（医師・看護師・MSW・
リハビリスタッフ）

医療安全委員会の事例報告

2022年度　地区別施設代表者会議

協会役員が各地区で開催されている「看護の地域ネットワーク推進会議」に出席し、施設代表者の方に協会運営についてご説明をさせていただくとともに、皆様からご意見・ご要望等を伺いました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。今後の協会活動の参考にさせていただきます。

地　区	開催日		場　所
国東地区		10月12日	大分県国東総合庁舎
別府・杵築・日出地区	別府	10月21日	オンライン会議
	杵築・日出	10月18日	オンライン会議
大分地区（中央）		10月19日	大分市保健所
大分地区（東部）		9月27日	大分市鶴崎市民行政センター
大分地区（西部）		10月７日	大分市稙田市民行政センター
由布地区		10月27日	大分県中部保健所由布保健部
臼杵・津久見地区		10月20日	オンライン会議
佐伯地区		９月16日	大分県南部保健所
豊後大野・竹田地区	豊後大野	10月６日	大分県豊肥保健所
	竹田	10月13日	大分県竹田総合庁舎
日田・九重・玖珠地区	日田	10月20日	オンライン会議
	九重・玖珠	10月25日	大分県玖珠総合庁舎
中津・宇佐・豊後高田地区	中津	10月18日	大分県中津総合庁舎
	宇佐	10月13日	大分県宇佐総合庁舎
	豊後高田	10月21日	大分県豊後高田保健部

【要望】

「オンライン研修を充実してもらいたい」「ファースト、セカンド、実習指導者講習会にできるだけ多くの看護師を参加させたいので、日程が重ならないよう調整してもらいたい」「会員特典を充実してもらいたい」「演習教材貸出し状況をホームページで確認できるようにしてもらいたい」等

【意見】

「拠出金が研修会館の維持等に使われていることを知らない会員が多いのではないか？」

「演習教材の貸出期間等改善されて良かった」「(協会ホームページ）PPE動画を院内研修に活用している」等

多くの施設代表者の方と直接お話しする機会をいただき、ありがとうございました。

別府地区（オンライン参加）

大分（東部）地区

佐伯地区

豊後大野地区

看護の現場から

様々な施設の「看護」に対する思いや取り組みについてご紹介します。

天心堂へつぎ病院

住所／〒879-7761
大分市大字中戸次字二本松 5956 番地
TEL／097-597-5777

コロナ病棟での
カンファレンス

新人看護師と
プリセプター

個々に合わせた
OJT

科長会メンバー（勤続永年表彰記念写真）

「みんなで協力して成果を出す」職場でありたい

天心堂へつぎ病院
看護部総科長　村上　博美

天心堂は、保健・医療・介護と地域に密着した包括ケアを展開しています。

医療を担うへつぎ病院は急性期・回復期・慢性期・看取りまで、地域に根差した医療を提供し、看護師はそれぞれの専門性を活かし、チーム医療の中で患者中心の看護を提供しています。

４月より看護部総科長として着任し戸惑いもありますが、周囲の方々の力をお借りして徐々に看護管理者としての役割が見えてきたところです。

若い看護師が多い当院では、安心して働ける環境が第一であると感じています。そこで、看護部の方針を「みんなで協力して成果を出す」とし、部署の総合力を高めることに取組んでいます。

そのような時、新人看護師が看護学生に対して、「実習中は看護師に声をかけるのもドキドキしたけど、就職したら何でも相談できる仲間のように感じる」、「自分にできることが増えて仕事が楽しい」、「こんな看護がしたい」と話している場面に遭遇しました。入職して間もない新人看護師たちが仕事にやりがいを感じているからこその言葉だと感じました。また、患者さんと関わる中で感動し涙する看護師の姿や「満足できるケアがしたいので認定看護師を目指す」と話す看護師に、共に成長していることを感じています。

今後も業務や医療を提供するということのみでなく、患者さんやご家族と良好な信頼関係を築き、一人一人が持てる力を発揮しながら互いに協力し、当院の目指す「ぬくもりのある看護」の実践に向けて取組んでいきます。

地区活動紹介 No.5 日田・九重・玖珠地区

大分県看護協会では県内を9地区に分け、それぞれの地域で「地区活動」を展開しています。地域の特徴を活かした企画や看護の課題に、地域のいろいろな場面で働く看護職が一緒になって取り組んでいます。

「きらり看護の仕事」リモート開催（8月9日）

平成2年、看護の質向上を目的に地域の看護師長らが発起人となって「看護のつどい実行委員会」を発足しました。病院・診療所・介護施設・訪問看護ステーション・学校・保健所・行政の各代表者で構成され、講演会や看護研究発表会の開催等の活動を行い、平成18年度からは『看護の地域ネットワーク推進会議』でも活動しています。

時代の変遷とともに看護課題や取り巻く環境が複雑化し、また、想定外の事態に見舞われることの大変さを多くの看護管理者は実感しています。

このような時代に対応していくためにも『看護の地域ネットワーク推進会議』の活性化が重要だと感じています。今年は会議が報告会だけで終わらないように連携交流が深まる会議とし、看護管理者のリアルな課題共有と解決の場にしていきたいと思います。

（地区理事　武原　恵子）

秋の地域活動「げんき教室」

大分県看護協会では、県民の心身の健康を守るための健康啓発活動を実施しています。実施に当たっては、ボランティアナースの協力を得ています。

9月

「災害！いのちを守る準備と心構え」

講師：亀山　知寛 氏

（大分市防災危機管理課　主査）

大分市の災害リスクと防災対策について聞くことができました。災害時の救助は「公助」だけでは無理で「自助」「共助」が重要であること、災害の備えは正確な情報収集と早めの行動が大切であることを再認識しました。

台風被害のニュースが毎日流れていた時期であったことや参加者が生活する地域の災害時状況や防災についての内容だったため、関心が高く熱心に聞いていました。

2022年度 リスクマネジャー交流会

医療安全対策の充実を図るための相互支援および連携体制の構築を目的に、参加者全員が会場参集し開催されました。
ゲーム形式やグループワークなどの演習を通し、参加者同士の交流が活発になり、気付きや学びの多い交流会でした。

日　時：2022年10月1日（土）　9：30～12：30
対象者：看護職で専従・専任リスクマネジャーおよび現場で医療安全を担当している者
他職種で専従・専任リスクマネジャーおよび現場で医療安全を担当している者
将来的に、医療安全の任を担う可能性のある者
参加者：74名

テーマ：「他職種との連携を強化して、医療安全のさらなる推進をはかろう！」

【会長挨拶】　大分県看護協会会長　大戸　朋子

【実践報告】
テーマ：現場における医療安全の連携状況
報告者：大分大学医学部附属病院　医療安全管理部
副部長（看護師長）　首藤　芳美 氏
自施設の医療安全の取り組みを紹介。インシデント報告数増加への取り組みや医療安全文化の醸成のために多職種を対象としたチームステップスの講義・演習を行っていることを報告。

大分県済生会日田病院　リハビリテーション部
理学療法士 主任　梶原　丘行 氏
回復期リハビリテーション病棟での医療安全の連携についてセラピストの立場から報告。
ツールを工夫したり、病棟ミーティングや回診・カンファレンスに参加することで、正確な情報共有や多職種連携がタイムリーに行えるように取り組んでいることを報告。

【講　　演】
テーマ：チームSTEPPSを活用して、他職種との連携強化！
(Team Strategies & Enhance Performance and Patient Safety)
講　師：愛媛大学医学部附属病院
元医療安全管理部　副部長　戸田　由美子 氏

チーム STEPPSとは「チームとしてのよりよいパフォーマンスと患者安全を高めるための戦略とツール」である。チームとしての取り組みで、医療安全・患者安全文化を醸成させることが目的。

４つのコンピテンシー（リーダーシップ、コミュニケーション、状況モニター、相互支援）を実施することで、〈パフォーマンス（チームとしてのパフォーマンスが向上する）〉〈態度（チームとしてどうあるべきかを考えて行動する）〉〈知識（患者の状況に関する共通理解が得られる）〉が得られる。

【演　習】

じゃんけん　……メンタルモデルの共有

「30秒間で、できるだけ多く勝つ。その数を競う」「二人で相談してよい」「上位5位までに賞品がある」と説明後に、じゃんけんを開始。

1位は、54回勝った参加者。「勝つための戦略を二人で話し合い、その通りにじゃんけんした」とのことだった。勝つための行動が双方で共有され成果がみられた。

紙を折る　ちぎる　……メンタルモデルの共有、チームパフォーマンスの向上

一方的な指示通りに用紙を「折る」「ちぎる」を実施。終了後に紙を広げ各々で確認、各々が違う形になっており、意図したとおりのメッセージが相手に伝わっているとは限らない、各々で受け取ったイメージが違う、質問できないため確認ができない・グループで共有できないことを体験した。二回目は「グループの全員が同じ形になる」ように、指示や質問を工夫することで、同じ形が増えた。

指示通りに折ってちぎったつもり……なぜか、隣の人と形が違う

人生の綱

医療現場で働く多職種間で、医療安全のために大切と思う職種にメッセージ（感謝・これからの希望など）を伝え、持っている紐の片方の端を渡す。これを繰り返していく。

事務職・専門職と患者に関わる様々な職種に対し、日常で感謝の言葉や希望（どうしてもらいたいかなど）を言葉で伝える機会は少ない。演習では、各職種に対して口にすることでお互いに何を期待しているのかを考える機会になった。

感謝のメッセージを一番多くもらった職種は果たして……誰？

川柳・短歌　研修の感想を川柳・短歌にまとめました。

- 1G　安全は一人ボッチでは守れません
  お医者様 あなたのヒヤリが致命的
- 2G　医療安全 ポジティブ思考 職場浸透
- 3G　安全は皆で取組みリスク０
- 4G　無くしたい 独りよがりの思い込み
- 5G　インシデント リスクレベルは下げたいね
  書くレベルは上げたいね
- 6G　ありがとう 安全管理の第一歩
- 7G　ドクターもチームSTEPPS参加しよう
- 8G　物価高 財布のひもはしまるけど
  感謝の気持ちは出し惜しみせず
- 9G　一人では何も進まず医療安全
- 10G　遠慮せず 勇気を持って情報交換
- 11G　ありがとう　明日から伝える心の気持ち

（医療安全推進委員会）

研修部だより

1　2022年度 保健師助産師看護師実習指導者講習会

2022年度　保健師助産師看護師実習指導者講習会は、2022年７月27日から開講し、2023年２月15日までの32日間の分散講義を開催中です。

新型コロナウイルスの影響で、グループワーク等の演習が実施困難な中、zoomによるオンライン対応などの感染対策を講じながら開催してきました。現在、感染対策も徐々に緩和され、グループワークも実施できるようになりました。

これから、研修も後半に差し掛かり、研修生の皆さんは実習指導案の作成に取り組みます。実習指導者としての役割を理解し、自施設で効果的な実習指導ができることを目標に有意義な講習会になるよう研修部一同応援しています。

2　2022年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修

長期の研修で多くの学びと頼りになる仲間を得ることができました。

今年度のファーストレベル研修は講義90時間、演習15時間、総時間数105時間のカリキュラムを終了し、83名の受講生が９月22日に閉講式及び修了証授与式を迎えました。

勤務と両立しながらの受講は勿論、５教科目のレポート提出も大変だったと思いますが、閉講式での皆さんの顔はとても晴れやかでした。

これからのご活躍と看護管理者としての更なる成長を楽しみにしています。

一人ひとりに修了証が授与されました。

同日開催された「看護管理実践計画発表会」の様子

3　在宅看護実践能力を高める講習会

大分県から委託を受け、利用者の生活の質の向上を目指し、療養生活の専門家としての知識を基に的確な看護判断と正確な看護技術を習得することを目的に、年間20単位の研修を実施しています。

今年は、コロナ禍で、在宅で過ごす利用者も増える中、その看護を担う訪問看護ステーションからの要望もあり、新たに『在宅人工呼吸器装着患者の看護』の講座を取り入れ、21人の受講生が在宅人工呼吸器の管理や生活の中でのケアのポイントを学びました。

業者の方からの
呼吸器の取り扱いを
熱心に聞いています

Information

（2022年12月～2023年１月）

（開催場所は大分県看護研修会館です）

2022 年度看護職連携強化交流会	日　時：2022年 12月10日（土） 9：30～12：30
専任教員継続研修会	日　時：2022年 12月10日（土） 13：30～16：00
看護の地域ネットワークサミット	日　時：2023年 1月28日（土） 9：30～12：00

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、予定が変更される場合があることをご了承ください。

ナースセンターからのおたより

Vol.44

離職時は「とどけるん」へ登録をお願いします
お仕事探しは、無料職業紹介サイト「eナースセンター」へ登録を

無料職業サイト「eナースセンター」に登録していただければ、ナースセンターの就業相談員が「eナースセンター」を活用して、求職者の方へ丁寧な就業支援を行います。 どうぞ上手に活用を！

無料職業紹介サイト「eナースセンター」に登録すると、自分でもお仕事探しができます

- お仕事を探している方
- 看護職を探している施設の方

登録・検索してみてください

https://www.nurse-center.net

新型コロナウイルス感染症スキルアップ研修会が毎月開催されています

- 新型コロナウイルス感染症に係る業務や通常就業を検討している方を対象に研修をしています。
- 日　程：2023年２月まで、月に１回
- 場　所：大分県看護研修会館
- 受講料：無料
- 内　容：新型コロナウイルス感染症の知識＋実技演習
- 受講後、３ケ月間eラーニング研修が受講できます。
- 申込など詳しくはホームページをご覧ください。

オンラインで就業支援を始めました！

大分県ナースセンターでは、2022年４月よりオンラインでのお仕事相談を始めました。
求職者も求人側も来所されなくても、相談員との就業相談ができます。

開 催 日 時　火曜日～土曜日（祝日を除く）　９時～16時

申込み方法　大分県ナースセンターへお電話ください。
※Ｚoom機能とメール機能が必要です。

大分県ナースセンターへの問い合わせは、 **TEL 097-574-7136**(日、月、祝日を除く9時～17時)
Email:oita@nurse-center.net

今後の看護力再開発講習会のお知らせ

研修Ⅱ（毎月第３水曜日）

研修日	講義（演習）内容
11月16日（水）	フィジカルアセスメント
12月21日（水）	吸引の実際
１月18日（水）	最新の褥瘡ケア
２月15日（水）	認知症ケア
３月15日（水）	看護過程と看護記録

採血・静脈注射実技演習（毎月第１水曜日）

研修日
11月２日（水）
12月７日（水）
１月４日（水）
２月１日（水）
３月１日（水）

会場 大分県看護研修会館　**時間** 10時～12時　**受講料** 無料

申込は
ナースセンターまで

こんな働き方していま～す

湯のまち訪問看護ステーション

私は急性期で５年半、回復期で12年勤務しました。回復期の最後の３年間は地域連携室で患者さんへの直接的ケアではなく入院の調整を主に携わりました。以前から訪問看護に興味があり、ナースセンターで湯のまち訪問看護ステーションのことを知り、正社員として働き始めました。

当初は、久々の看護技術と利用者様の自宅への道順に不安を抱えていましたが、所長を始めスタッフの方々が何度も教えて下さり安心して仕事に取り組むことができています。子どももまだ小さいですが、子育てにも専念できるよう配慮してくださりとても働きやすい環境です。

看護師　高月智恵子

スタッフの皆様と一緒に！

湯のまち訪問看護ステーションは、「住み慣れた地域で安全安心な療養生活とその人らしさを支えます」を理念に掲げ、今年13年目を迎えました。開設当初は４名の看護師でしたが、現在は13名です。

高月さんは今年４月から当ナースステーションで勤務されています。もともと地域医療連携室に勤務された経験や訪問看護の希望もあり、すぐに溶け込み、前向きに取り組んでおります。ご利用者様やご家族様との信頼関係を大事にされ、常に客観的な視点を持って対応されている姿に、私たちも学ぶことが多いです。

これからもどうぞよろしくお願いします。

管理者　小野朱美

当訪問看護ステーションは子育て中のママナースやプラチナナースの方も働きやすい職場です

2022年度 災害支援ナース交流会

日　時：2022年7月28日（木）　9：30～12：00
対　象：災害支援ナース登録者、災害看護基礎研修を受講した者、災害支援に関心のある看護職等
参加者数：35人

9：30～　開会挨拶　大戸　朋子（大分県看護協会会長）

9：35～　『令和2年7月豪雨災害』における大分県看護協会の取組み
藤本紀代美（大分県看護協会 災害看護委員会担当理事）
＊派遣調整と、災害支援ナースの活動について説明

9：55～　実践報告
「被災地での災害看護活動について」
山村　　愛 氏（長門記念病院）
熊本地震においてDMAT隊員、災害支援ナースと立場の異なる活動を経験。
活動時期、活動目的、活動場所等の違いを踏まえ、災害支援ナースとしての活動について報告。また、もしもの要請に備え、平常時から準備しているリュックサックの内容について解説。災害現場で実用性のある持参物品は参加者の関心を集めていた。

10：10～　机上シミュレーション・講話
「被災地での災害看護活動について」
羽明　輝史 氏（大分赤十字病院）
活動の原則（CSCA）・生活拠点選定の原則・活動する前に考える事、被災者のこころのケアについて説明。机上シミュレーションでは、【派遣実現に向けて家族や職場とどんな調整をする？】【携行品は何を準備する？】【活動する現場に到着したら、まずは何をする？】に対しグループワークを実施、その後の講師の解説で準備～現場での活動についての理解を深めることができた。

11：45～　災害支援ナース登録について

参加者の声

「初めて参加して他施設の人と交流ができて良かった」「時系列での動きや実際の物品を見てイメージがわいた」「常に出動できるように準備しておこうと思いました」などの感想が聞かれました。
また、「被災地での活動経験者の話が聞きたい」「ロールプレイなどで経験してみたい」などの要望もいただきました。来年度の企画に反映させていきたいと思います。

企画・運営：災害看護委員会

協会出発時

避難所

写　真　令和2年7月　豪雨災害での活動

委員会活動紹介

取り組んでいますか？

「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」

日本看護協会は個人の多様性を認め合い、すべての看護職が働き続けられる労働環境を目指して、2021年３月に新たな看護職の働き方「５要因10項目」を提案しました。

昨年度から「働き続けられる職場づくり推進委員会」では、この普及活動に取り組んでいます。

11月12日（土）、ワーク・ライフ・バランス推進交流会を開催し、看護職がやりがい感を持って健康に働き続けられることを目指してみなさんと課題を共有したところです。

2022年10月には、診療報酬で「看護職員処遇改善評価料」も新設されました。医師の働き方改革に伴うタスクシェア/シフトなども好機と捉え、看護職が働き続けられる環境を整備していきましょう。

（「働き続けられる職場づくり推進委員会」委員長　平本　典子）

５要因	10項目
１．夜勤負担	１）勤務間隔は11時間あける（勤務間インターバル確保） ２）勤務拘束時間13時間以内とする ３）仮眠取得の確保と仮眠環境の整備をする ４）頻繁な昼夜遷移が生じない交代制勤務の編成
２．時間外労働	５）夜勤・交代制勤務者においては時間外労働をなくす ６）可視化されてない時間外労働を把握し、必要な業務は所定労働時間に取り込む
３．暴力・ハラスメント	７）暴力・ハラスメントに対し、実効性のある組織的対策を推進する ８）上司・同僚・外部からのサポート体制を充実させる
４．仕事のコントロール感	９）仕事のコントロール感を持てるようにする
５．評価と処遇	10）仕事・役割・責任等に見合った評価・処遇（賃金）とする

理事会審議事項報告（2022年７月～９月）

７月　第５回理事会：2022年７月16日（土）　ハイブリッド形式にて開催

・「特定積み立て預金（普通預金）」の「決済預金」への変更について（案）
　ペイオフ対策のための変更……承認

８月　第６回理事会：2022年８月20日（土）　ハイブリッド形式にて開催

・役員賠償責任保険の継続について（案）……承認
・大分県看護協会「業務システム」の仕様書作成について（案）……承認

９月　第７回理事会：2022年９月17日（土）　ハイブリッド形式にて開催

・2022年度「いのち輝くいいお産の日」事業企画（案）……承認
・2022年度「みんなで伸ばそう健康寿命」事業企画（案）……承認
・拠出金からの借入金返済（資金移動）について（案）……承認

寄付をありがとうございました

生命保険協会大分県協会様より、県民の健康を守るために日々頑張っている看護職への感謝の言葉とともに、ご寄付をいただきました。

心よりお礼申し上げます。

会員係より 2023年度　会員継続・入会の手続きについて

11月	12月	1月	2月	3月

会員継続の手続き

1．案内が順次届きます

2．内容を確認し以下の手続きをします

【変更・不備なし】
→　自動継続（提出不要）

【変更・不備あり】
→「変更届」を提出または【キャリナース】で申請
＊勤務先、住所変更等
＊口座振替の方で、氏名変更がある方は、口座名義の変更が必要です
＊県外へ転出の方は、大分県看護協会へご連絡ください

会費納入の手続き

1．以下の方法で納入します

【口座振替の方】
初回振替日は**1月27日です**

【施設とりまとめの方】
1月末日を目安に施設専用口座へお振込ください

【銀行振込・コンビニ収納の方】
「払込取扱票」で**2月末日**を目安にお振込ください

【退会希望】
→「退会届」・会員証を提出　（ホームページより「退会届」をダウンロード・記入して会員証とともに協会へ送付）

＊ 会費納入方法が「口座振替」の方は、**12月20日**までにご提出ください

＊ **3月31日**までに協会着の場合のみ翌年度会費の返金が可能です。4月以降は返金はなく、当該年度の退会はできません

★ 退職者の『継続のお知らせ』が施設に届いた場合、早急に大分県看護協会へご返送ください。

★「入会申込書／会員情報変更届」（濃いピンク色）が必要な場合は、大分県看護協会までご連絡ください。

★【キャリナース】にご登録いただくと、ご自身で会員情報の変更が可能です。大分県看護協会より新着情報も発信しております。是非、ご活用ください。

▼QRコード

【お問合せ先】　大分県看護協会　総務部　会員係
TEL 097-574-7117

編集後記

日に日に秋が深まり、紅葉の美しい季節になりました。大変な１年でしたが、空気の澄んだ秋の夜長、たまにはゆっくりと時間を過ごし心と体を癒しましょう。

今号が今年最後の広報誌です。発行するにあたり、多くの方のご協力をいただきました。ありがとうございました。

（広報委員）

広報委員

松本高幸（委員長 川嶌整形外科病院）、岡野ゆかり（副委員長 大分大学附属病院）、小野翠（副委員長 大分市保健所）甲斐陽一（別府発達医療センター）、羽田野恵美（みえ病院）、小関良子（大河原病院）、伊南冨士子・伊藤美津子（大分県看護協会）

大分県看護協会事業部　TEL：097-574-7117　FAX：097-545-3751　✉：jigyou@oita-kango.com

会員特典は、別冊で配布しています